

To nurture and sustain a community interested in Japanese and Japanese Canadian culture and heritage.

てんぽう

OUTLOOK

Setagaya Delegation Visit

JAPANESE CULTURAL
ASSOCIATION OF
MANITOBA INC.

FALL EDITION 2025
Volume: 74
Issue: 1

JCAM is a federally registered charity # 12064 6021 RR0001



コンテンツ一覧

Community

会長からのメッセージ
ジム・スズキ

Highlights

2025 JCAM 盆踊り祭
キャロライン・ヤマシタ

Community

JCAM 寄付金

Highlights

JCAM 大掃除の日！

Highlights

世田谷代表団の訪問

Upcoming

カナダ人権博物館での展覧会
「Broken Promises」

Highlights

フォークロラマ 2025
デブラ・タケウチ

Community

JCAM オフィスメンバーの紹介
コーナー
パメラ・オカノ、サラ・エバタ、リュウノスケ・
ヤマグチ

Highlights

日本館アンバサダーからのメッ
セージ
ノブコ・ディアズ・ツツキ

Upcoming

JCAM 年次総会のお知らせ

Highlights

地域貢献、日本の文化の大切な一
つ、毎日の生き方
ザリア・カリン・ディアズ・ツツキ

Community

JCAM スポンサー

Highlights

ホライゾンクラニュース

Highlights

日の出太鼓ニュース

JCAM Board 理事会 of Directors 2024-2026

President Jim Suzuki

Lucy Yamashita

Noriko Takahashi

Treasurer Masataka Fukumoto

Junko Bailey

Rhea Teranishi

Secretary Sarah Keating Sangalang

Sumi Saito Kimanivong

Tanner Jangula

Past President Kelly Kaita



会長からのメッセージ

ジム・スズキ

マニトバ州日本文化協会 会長

今回の「展望」のためにこの記事を書けることをとてもうれしく思います。私は2024年10月にJCAMの会長に就任しました。今年はイベントやアクティビティが多く、忙しい年だったようです。

シニアプログラム、キッズクラブ、多くのユーザーグループ、マニトバ剣道クラブ、ウィニペグ武道会松濤館空手、日の出太鼓、合気道など、私たちのプログラムは非常に活発でした。他のグループには、オーロラダンサーズ、マニトバカラオケクラブ、日本の茶道、書道などがあります。また、9月から6月まで開催される日本語学校プログラムも活発に行われています。食事準備グループでは、募金プログラムとして毎月どんぶりイベントを行っていました。

今年もJCAMは多くの活動に参加しました。2月、JCAMと日本総領事館、ユダヤ人連盟は、カナダ人権博物館でキタデアキラ氏の「Visas of Life and the Epic Journey」の講演を主催しました。キタデア氏は、リトアニアのユダヤ難民に渡航ビザを提供し、リトアニアから日本への安全な通行を可能にする渡航ビザを提供した杉原千枝副領事の話をしました。キタデア氏の研究は、これらの難民、または何年も後にこれらの難民の子孫を見つけることでした。このイベントには100人以上が参加し、多くの参加者が集まりました。また、2025敬老会-122025 敬老会-の参加者にはカナダに渡ってウィニペグに定住した杉原生存者の一人の直系の子孫がいました。

Birchwood Lexusはカナダで35周年を祝いました。6月には、JCAMが招待され、日の出太鼓は3つのミュージカルナンバーを演奏し、大変好評でした。

日本では500年以上前から「盆踊り祭り（民族舞踊の祭典）」が祝われています。群舞で先祖を讃えるのは日本の習慣です。参加者はカラオケの歌に参加するだけでなく、さまざまな民族舞踊を教えられます。今年の6月にJCAMが開催した

このイベントには、マニトバ州文化・遺産・観光・スポーツ大臣のネリー・ケネディ氏とノートルダム大学議員のマラヤ・マルセリーノ氏が出席しました。このイベントでは、参加者全員に日本食や飲み物、ゲーム、日本舞踊が披露されました。



8月、JCAMはウィニペグで開催されたフォークロラマ54に参加しました。7日間で400人以上のボランティアにより、4,000人の参加者を受け入れました。

日系カナダ人遺産協会から、インフラ整備のための助成金をいただきました。この助成金により、JCAMは現在、体育館、事務室、図書室、マークコガルムの改修工事を進めています。また、日本の工芸品の展示ケースも新設しました。建物の外側も新しい外装材で再仕上げされます。そして改修を完了するために、駐車場を舗装しました。

これらの多くのイベントを企画し運営するために、家族から離れて数え切れないほどの時間を犠牲にしてくれたすべてのボランティアとスタッフに感謝したいと思います。改修工事が行われていたここ数か月で、3つの部屋を数人のボランティアによって中身を完全に空にしたため、請負業者はこれらの部屋を完全に改装して、将来に向けて機能を追加することができました。ぜひ多くの方々にボランティアになって頂けますと幸いです。

私たちの献身的なボランティアは、私たちの文化センターを生き生きとした存在にしているものであり、このグループがなければ、私たちがコミュニティにもたらすサービスやプログラムを提供し続けることはできませんでした。どうもありがとうございました。

ジム・スズキ - 会長



JCAM DONATIONS

(May 1 to September 30, 2025)

In memory of Amy Kaita

Michele Lei

Apprec Takeuchi family -

Debra, Satoshi, Grayson

Terumi Kuwada

In memory of Barry Ebata

Thomas Yamashita

Brenda & Howard Mark

Theresa Oye

Susan Oye

Caroline Yamashita & Roy Nishimura

Ron & Lily Kaita

Mona & Ernie Hiebert

Art & Keiko Miki

Takeo & Rose Kawasaki

S. Irene & Terry Spooner

In memory of Brian Cox

Thomas Yamashita

Jennifer Hashimoto

Bronze Family Donor

Kay Mitsui

Pamela Okano

Allan, Shirley, Ryan, Adam, Krystin, &

Violet Okano

Theresa Oye

In memory of David Labram

Shirley Teranishi

Darlene Courtney

Thomas Yamashita

Judy & Jack Mizuno

In memory of Kyoko Kawasaki

Brenda & Howard Mark

Florence Mitani & Paul Bainbridge

Shirley Teranishi

Theresa Oye

Pamela Okano

In memory of Lillian Shimoda

Peggy & Tsugio Tanaka

In memory of Linda Koskie

Theresa Oye

Shirley Teranishi

Brenda & Howard Mark

Thomas Yamashita

Mona & Ernie Hiebert

Susan Oye

Terumi Kuwada

Jim & Margaret Suzuki

Ron & Lily Kaita

Bruce Koskie

In memory of Mary Yamamoto

Sumi Kimanivong

In memory of Mr. & Mrs. Yosh

Ito

Kay Mitsui

In memory of Phil Mukai

Susan Oye

Jim & Margaret Suzuki

Theresa Oye

Terumi Kuwada

Karen & Keith Tazumi

Betty Haese

Pamela Okano

Steven Kinoshita

Caroline Yamashita & Roy Nishimura

Florence Mitani & Paul Bainbridge

Kathy Grabowski

Terry & Cathy Tully

Jennifer Hashimoto

JCAM Picnic

Caroline Yamashita & Roy Nishimura

Tracey Suzuki

JCAM Volunteer Party

Jennifer Hashimoto

Bon Odori

Ted & Joy Letkemann

In memory of Roy Mizuno

Darlene Courtney

Karen & Keith Tazumi

In memory of Shigeko Sato

Theresa Oye

Karen & Keith Tazumi

Sachiko Conway

Shirley Teranishi

K. Lucy Yamashita

Edna Takenaka

Gary Shibata

Marie & George Tomchuk

June & Dayna Tomchuk

Akemi Miyahara

Karen Liddiard

Sandra Shibata

Silver Family Donor

Anonymous

Yayoi & Lester Brandt

Andrew Winkless

Caroline Yamashita & Roy Nishimura

Kelly & Lisa Kaita

Terry & Cathy Tully

In memory of Suzue Nishibata

Tannis Nishibata Chan, Ron Chan &

Nishibata family

Gaia Hashimoto

In memory of Thomas Hirose

Ken Matsukubo

In memory of Toshiko

Hashimoto

Jennifer Hashimoto

In memory of Yukio Morita

Brenda & Howard Mark

Goodwill

Anonymous

Sanae & Takashi Murakami

Elizabeth Ready

Glenn Koga

Marie Ohta

Kuni Omotani

MD Management Ltd

Jingdong Zhao

JCAM extends its appreciation to all donors for their generosity and support.
JCAM is now able to receive donations through e-transfer – etransfer@jcamwpg.ca





世田谷代表団の訪問 2025

ウィニペグ市は、10月20日から26日の期間に、ウィニペグで最も古い姉妹都市である世田谷の代表団を歓迎しました。今回の訪問は、両市の姉妹都市協定締結55周年を記念したもので、保坂展人市長とスコット・ギリングム市長の両市長は、10月23日（木）にウィニペグ市役所で行われた式典で、姉妹都市関係の再確認協定に署名しました。



10月22日（水）、JCAMは世田谷区代表団12名とセンターにて夕食を共にしました。参加者は、シェフとオオノ夫妻が作ったおいしいお弁当を楽しみました。この夜は、友情を新たにし、姉妹都市の歴史を共有し、日系カナダ人コミュニティの支援を再確認する素晴らしい時間でした。代表団は、サム・マツオ氏のオリジナル版画が描かれた世田谷通り庭園の記念品を持ち帰りました。サム

氏の娘キム・パウリセリ氏が贈った額装版画は、世田谷区役所に飾られる予定です。

この夜は、姉妹都市関係の新しい55周年記念ビ



デオのプレゼンテーションで締めくくられました。JCAMと47フィルムワークスが共同で制作したこのビデオは、世田谷代表団に大好評を博しました。動画はJCAMのYouTubeチャンネルに掲載され、皆様にお楽しみいただけます。



Photo Credit: Sandra Shibata



下記がシティホールで行われたセレモニーの参加者になります。

世田谷代表団

名前（英語）	名前（日本語）	役職名
Hosaka Nobuto	保坂 展人	世田谷区長
Odaira Mitsunori	大平 光則	世田谷区 区長室長
Watanabe Kenkichi	渡邊 謙吉	世田谷区 生活文化政策部長
Iwata Satoshi	岩田 悟史	世田谷区 生活文化政策部文化・国際課 国際・多文化共生担当係長
Ishikawa Naomi	石川 ナオミ	世田谷区議会議員
Kohno Toshihiro	河野 俊弘	世田谷区議会議員
Sakaguchi Kenichi	坂口 賢一	世田谷区議会議員
Nakatsuka Sachiyo	中塚 さちよ	世田谷区議会議員
Harada Ryoma	原田 竜馬	世田谷区議会議員
Okamoto Nobuto	岡本 のぶ子	世田谷区議会議員
Mizutani Atsushi	水谷 敦	世田谷区議会事務局 次長
Takahashi Ryo	高橋 亮	世田谷区議会事務局

在カルガリー日本総領事館

タケヒコ・ワジマ - 総領事
ヨシコ・オカダ - 副領事

ウィニペグ市

スコット・ギリングム - 市長
ジャニス・ルークス - 副市長
ジェフ・プロワティ - 市議会議員
マーカス・チェンバース - 市議会議員







フォークロラマ 2025

今年の日本館もまた大成功となりました！今年はペトリュスホールの日本館に 8,000 人近くのゲストが訪れました！日本館は、2025 年 8 月 10 日から 16 日までのフォークロラマ 2025 の第 2 週に展示された 43 のパビリオンのうちの 1 つでした。

日本館のゲストは、日の出太鼓、オーロラダンスグループ、子供楓ダンスグループ、ふうりん琴アンサンブル、剣道、空手、居合道などの武道、ソロボーカリストなど、ダイナミックで変化に富んだステージショーを楽しみました。日の出太鼓はフォークロラマでの演奏 40 周年を祝い、多くの卒業生が演奏に戻ってきました。卒業生たちは、長年に渡る様々なデザインの法被コートを着ていました。ショーは、観客が炭坑節に参加して締めくくられました。

フードメニューは、キッチンボランティアが用意した日本のカレー、照り焼きチキン、肉丼、マグロとサーモンのおにぎり、味噌汁、そして Edokko Japanese Food に提供頂いた寿司の盛り合わせなどがありました。

このイベントを成功に導いてくださった多くの献身的なボランティアに感謝します。

Photo Credit: Sandra Shibata



まだまだ写真が沢山ありますので、下記リンクから Web サイトでご覧下さいませ！
<https://www.jcamwpg.ca/gallery/2025-folklorama-petrus-hall/>



日本館アンバサダーからのメッセージ

大人のアンバサダーとして、フォークロラマを通じて多くの貴重なことを学びました。私は文化的交流、コミュニティのサポート、インクルージョンの促進の重要性に気づきました。

高額な飛行機のチケットを払わずに、パビリオンを訪れ、伝統舞踊や食べ物、言語など新しい発見をすることで、多くの国を体験することができました。

また、各パビリオンをボランティアでサポートしてくださった素晴らしい方々にもたくさん出会いました。日本館では、ボランティアの献身的な努力のおかげで、来場者はエキサイティングなショーを楽しむことができました。日本館を成功させるために、私たちは皆一生懸命働きました。

私の最高の思い出の1つは、アンバサダー紹介の一環としてステージでアメリカ手話を使用したことです。これにより、日本館を見に来てくださったゲストの皆様を温かく迎えることができました。

大人のアンバサダーとして働くことで、夏の間ずっと学び、成長し、多くの素晴らしい人々とつながることができました。そして、日本人コミュニティのためにボランティア活動を続けたいと思っています。

ノブコ・ディアズ・ツツキ

地域貢献，日本の文化の大切な一つ、毎日の生き方

**Chiiki Koukenn,
A crucial component of Japan's culture,
A way of living everyday**

地域は場所を意味し、貢献は誰かのために努力するという意味で、この二つの言葉は私たちの生きる日本文化のバックボーンを形成し、私たちに誇りを持たせてくれます。

地域貢献は、コミュニティの誰かのために、たゆまぬ努力をし、時に喜びを分かち合い、恩返しをするという意味です。

日本の横浜で育った私は、ある男性と一緒にこの地域貢献を経験することができたため、今の私があります。

その男性は75歳で、朝5時に起き新聞を配達し、地域の清掃活動に参加し、毎年夏には盆踊り祭りをボランティアとしてまとめていました。人々に貢献することを好み毎日を生きた彼の名は都筑正志と言い、私の祖父です。彼が私に教えてくれたことは私の一部となり、カナダに引っ越して来てからは、より私の心に根付いています。自分がマイノリティであり、自分を見失った時に、この教えが日本人としての私の基礎となっていました。ウィニペグのダウンタウンの灰色の通りを歩いてから、私が今住んでいるチャールズウッド地区まで、祖父が私の人生にもたらした色を共有したいと思いました。

数年前から JCAM で様々なボランティア活動に携わってきましたが、私がフォークロラマの日本館に初めて関わったのは3年前になります。当時は清掃員としてテーブルを拭き、皿を片付け、ゴミを空にしました。フォークロラマは、私の日本文化に貢献するだけでなく、私たちの価値観、文化、道徳、そして祖父が私の人生にもたらした色を世界に共有する機会でした。2年後の今年の夏、私はコースアンバサダーになる機会を与えられました。

アンバサダーとしてこの一大イベントを開催するまでの努力を深く理解できました。私たちの日本館は小学生からの幅広い年齢のボランティア全員のお陰で成り立っています。さらに、ボランティアは多様な人々で構成され、いくつか挙げると、カナダ人、コロンビア人、ベトナム人のボランティアに会いました。私たちは皆、コミュニティに恩返しをするために団結しました。日本館の顔として、舞台裏で行われている仕事を認識し、それを他の人と共有できるものに結びつけることが私たちのすべきことです。さらに、アンバサダーになったことで、共有すると同時に学ぶことができました。他のパビリオンを訪問することで私の視野が広がりました。各パビリオンは私に何か新しいことを教えてくれて、会話を通して相互理解が生まれました。言うまでもなく、今の私は去年の夏の私と大きく違います。フォークロラマを通じ、私の人生に新しい色を与え、私のパレットに追加してくれた祖父のような人々に出会うことができました。

ザーリア・カリン・ディアズ・ツヅキ

ザーリアさん、2026 フォークロラマ大使任命、おめでとうございます！



ホライゾンクラブニュース

ホライゾンクラブは、10月1日水曜日から夏休み明けに毎週の集まりを開始しました。6月18日、夏の締めくくりを「夏のあつまり」で、70人でシェフとオオノさんが用意した「おいしい弁当」ランチを楽しみました。

ホライゾンクラブは春と夏に忙しい年を過ごしました。

ホライゾンクラブは、2025年5月25日(日)にJCAMにて世代を超えた家族の歴史の集いを開催しました。約40名が参加し、何世代にもわたる日系カナダ人や戦後の一世、そして日本からの新しく来た人、そして日本語プログラムの学生が集まりました。講演者のフローレンス・ミタニ氏、ヤヨイ・ブラント氏、レア・テラニシ氏、ユヒト・アダチ氏の皆さん、強制収容についての話やカナダに来た経験を語っていただき、ありがとうございました。歴史や経験を学び、共有するために来てくれた熱心な参加者と、助けるために名乗り出てくれた個人に感謝します。このイベントは、JCAMと日系カナダ人レガシー協会世代間ウェルネス基金の支援により実現しました。

5月28日は忙しい一日でした。午前11時から、ゲストインストラクターのブレンダ・モーバーク氏が率いる活気のある「ドラムズ・アライヴ」エクササイズクラスから始まりました。昼食には、テリー・ワタダ氏と妻のタネ・アケマツ氏をゲストとして迎えました。テリー・ワタダ氏は、トロント在住の熟練した小説家、詩人、劇作家、シンガーソングライターです。彼は25年間、日経の声に毎月コラムを寄稿しました。彼は2012年からバンクーバー・ブリテンに寄稿しています。昼食後、テリーが私たちに話しかけてくれ、彼のサイン入りの本もいくつか販売されていました。

8月5日、ホライゾンクラブ会員44名、家族・友人がフォークロラマ・バスツアーに出かけました。私たちの最初の目的地は、RBCコンベンションセンターのハンガリー・パンノニア・パビリオンでした。私たちは寛大なディナーと活気のある伝統的なダンスとエンターテインメントを楽しみました。その後、フランコ・マニトバ文化センターのカリビアン・パビリオンに行きました。私たちはエンターテインメント、スチールドラムの演奏、活気のあるダンス、リンボのパフォーマーを見ながら、おいしいデザートを楽しみました。みんな楽しい時間を過ごしました！

あなたは55歳以上ですか？水曜日はぜひご参加ください。

利点：

- ランチは会員7ドル、ゲスト10ドル
- メンバーシップに含まれる毎週のフィットネスクラス
- フォークロラマへの外出などの活動、イベント、プログラムへの参加
- フレンドリーな仲間、楽しさと笑い

会員資格はJCAM会員が対象で、会費は年間5ドルです。フィットネスクラスは午前11時に始まります。昼食は正午に提供されます。

ぜひ一度おいでください！



日の出太鼓ニュース

この夏、日の出太鼓は野外フェスティバルでの演奏や、市内のさまざまな子供向けサマープログラムのアウトリーチワークショップの開催に大忙しでした。ウィニペグの毎年恒例のアニメコンベンション「Aikon」のオープニングに戻ってこられたこと、ウィニペグ中国文化コミュニティセンターのカナダデーのお祝いに参加できたことを嬉しく思います。

長年にわたって日の出のパフォーマンスを見てきた人なら、グループ内に多くの新しい顔がいることに気付いたでしょう。この夏、4人の新しい見習いと共に初めてパフォーマンスを行いました。私たちは彼らをステージに迎えることができたととてもうれしく思いますし、来年彼らに何がもたらされるか楽しみです。

また、日の出太鼓は、新しいメンバーに加え、フォークロラマ日本館での演奏 40 周年を祝うために、11 人の卒業生を呼び戻すという喜びも味わいました。私たちは、HT レパートリーの古くからある作品である「Uma」を復活させ、ショーを盛大に開始できることに興奮しました。才能あるドラマーが大勢集まっていたので、フォークロラマの聴衆はほぼ毎晩異なるドラムソロを体験する機会がありました。3 つの巻き貝の呼びかけのオープニングと、この曲の悪名高い「ガンビーアーム」を完備し、私たちの記念日のお祝いが思い出に残るパフォーマンスになることを願っています。

夏の間、私たちのドラムメンテナンス チームも、今後の公演に向けてドラムの修理に懸命に取り組んできました。これらの努力の結果、HT は現在、6 つの新しいドラムヘッドを演奏ローテーション

に導入しました。そのうちの 1 つはマニトババイソンで作られており、私たちのグループでは初めてです。ドラムのヘッドを再設定するには、ドラムシェルを補強するために大規模な作業を行う必要がありました。ドラム缶のメンテナンスは、手間がかかり、原材料の面でも高価ですので、ドラム缶の修理を支援してくれた今年のワイン抽選会募金活動のチケットを買ってくださった皆様にも心より感謝申し上げます。皆様のご支援がなければ、日の出太鼓は運営できません。

日の出太鼓の公演やイベントの最新情報に興味がある場合は、当社のウェブサイトをチェックするか、hinodetaiko.ca のメーリングリストに参加してください。



2025 年秋の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

Photos Credits:

Canada Day - Tommie Au 柯

Folklorama - Ellie Ocampo, Blink 1A2 Photography

2025 JCAM 盆踊り祭り

6月21日、盆踊り祭では楽しい午後を過ごしました。煙が立ち込める中、約345人の参加者が参加し、午後を通して130人のボランティアが手伝いました。スポーツ・文化・遺産・観光大臣のネリー・ケネディ氏は、ワブ・キニュー首相とノートルダム大聖堂のMLAを代表して挨拶を述べ、マラヤ・マルセリーノ氏も出席し、挨拶を



述べました。5つの盆踊りが教えられ、参加者も参加し、カラオケの歌、スイカ割り、さまざまな子供向けゲーム、太鼓のワークショップなど、誰もが楽しめるアクティビティでした。お祭りの食べ物には、豚の唐揚げ、和風焼きそば、スパムむすび、稲荷寿司、たい焼き、枝豆、そしてもちろん特製の緑茶かききごりもありました。今年はバーが屋外で行われ、参加者は冷たい飲み物を飲みながらエンターテインメントを楽しむことができました。



マーガレットとジム・スズキ、ロイ・ニシムラ、そして祭りの資金提供のために寄付をしてくれた他の個人に特に感謝します。また、Edokko Japanese Foods、

Innovair Group、Corporate Source、Erickson Motorsのご支援、ベンダーのYuka's BakeryとWutong Tree Gift Shopのご参加にも感謝いたします。

この場をお借りして、以下の食委員会・企画委員長の皆様に心より感謝申し上げます。彼らは数多



くの会議に出席し、イベント全体を企画しました。彼らがいなければ、JCAM 盆踊り祭はこれほど成功しなかったでしょう。

Jeff Agapito, Niina Dubik, Sara Ebata, Kevin Houle, Sarah Keating Sangalang, Tomoko Kehler-Yokobori, Kelly Koga, Todd Koga, Kyla Letkemann, Joy Letkemann, Geoff Miki, Aiden Muller, Roy Nishimura, Hazel Saito, Hiroe St Louis, Margaret Suzuki, Drew Symbol, Jordan Takenaka, Satoshi Takeuchi, Lucy Yamashita.

Submitted by: Caroline Yamashita, Bon Odori Matsuri Coordinator





JCAM 大掃除の日！

10月5日日曜日、JCAMは館内の大掃除を行いました。当日の天気はあいにくの雨でしたが、約50名のボランティアの方々にお集まりいただき、すべての部屋の隅々までが磨かれました。テーブルや椅子、障子などの備品もひとつひとつ丁寧に磨かれ、窓やショーケースも綺麗になりました。すでにセンターに訪れた方はお気づきかもしれませんが、展示物もリニューアルされました。人形や兜、刀がショーケースに入れられています。

大掃除の後には、大野さんとシェフの方々がボランティア全員分のラーメンを作って頂き、皆さんで美味しく頂きました。館内全体の掃除は大掛かりなものでボランティアの皆様の協力によって完了することができました。ここで感謝の意を表明させていただきます。





カナダ人権博物館での展覧会 「Broken Promises」

日系カナダ人と JCAM の設立にとって極めて重要な歴史を特集した「Broken Promises」展が9月23日にカナダ人権博物館で開幕した。この巡回展は、全米日系カナダ人博物館とロイヤル・ブリティッシュコロンビア州博物館が共催し、7人の語り手の物語を通して歴史を探究し、今日でも日系カナダ人コミュニティに影響を与え続けている喪失、回復力、強さの物語を共有します。この展覧会は、この裏切りに光を当て、これらの約束破りの継続的な影響と、それに耐えた人々の回復力を強調します。博物館の訪問者は、戦前、戦中、戦後のカナダにおける日系カナダ人の生活と、彼らの剥奪の遺産が今日までどのように続いているかについて学ぶことができます。

● 期間

2025年9月23日(土)～2026年4月25日(日)。

● 場所

カナダ人権博物館 6階エクスプレッションギャラリー

● 関連記事

<https://humanrights.ca/exhibition/broken-promises>

<https://humanrights.ca/news/forced-their-homes-and-left-nothing>

<https://humanrights.ca/story/japanese-canadian-internment-and-struggle-redress>

<https://www.jcamwpg.ca/japanese-canadians-in-manitoba/>

<https://www.jcamwpg.ca/mural-japanese-in-manitoba/>

Photos Credits:

CMHR, Aaron Cohen

JCAM オフィスメンバーの紹介コーナー

パメラ・オカノ

オフィスマネジメント

パメラは1993年、JCAMの前身であるMJCCCに、現在のセンターの場所で管理者として最初に採用されました。1996年にMJCCCを離れてウィニペグ、日本、ブラジルで28年間の教職に就いた後、2021年に再びオフィス管理者として採用されました。役職名は同じでも、この数十年間で仕事内容は確かに変わりました！



パメラは三世で、マニトバ州日系コミュニティの中で育ちました。25年以上にわたり、日の出太鼓の芸術監督兼演奏者として活動し、日本の鼓童や北米太鼓会議諮問委員会の国際理事も務めました。

サラ・エバタ

イベントコーディネーター

サラは子供の頃から文化センターのメンバーでした。大人になってから、彼女はセンター（JCAM以前）に深く関わっており、JCAMになって以来も関わりを持ってきました。



フォークロラマ日本館、盆踊り、キッズクラブなどで大活躍。長年にわたり、彼女は子供たちのピクニック、ハロウィーンパーティー、新学期パーティー、お正月イベントを手伝い、以前は理事も務めていました。

現在、サラはJCAMにイベントコーディネーターとして雇用されています。平日は、法律アシスタントとして長年法律事務所で働いています。

サラの子供たちと夫は、しばしば彼女のボランティア活動に参加します。娘のダニカと息子のエイデンは、彼女と一緒に日本館の委員を務め、盆踊りや彼女が関わった他のすべてのイベントを手伝ってきました。彼女の家族は、イベントコーディネーターのポジションや定期的なボランティア活動に関して、舞台裏の多くのことを彼女に手伝うことに非常に献身的です。

リュウノスケ・ヤマグチ

管理アシスタント

リュウノスケは最近アドミンアシスタントとして雇われ、土曜日のオフィス管理やoutlookの担当をしています。日本で大学を卒業し1年間働いた後、ウィニペグにやってきました。日本の千葉県出身です。暇な時間はドライブや映画、音楽を楽しむのが好きです。最近古いタイプの車を購入したので、音楽を聴くためにCDショップへ行くのが楽しみです。また、会計/ファイナンスの勉強も始め、日々充実していると感じています。皆さんにお会いするのを楽しみにしています。



今後のイベント

- 11/23：JCAM 年次総会
- 11/28：どんぶりランチ
- 12/5：まんじゅう作り
- 12/6：うどんランチ
- 12/13：キッズクリスマスパーティー

スケジュールは変更の可能性もございます。詳細につきましてはJCAMのSNSでのご案内をお待ちください！
<https://www.facebook.com/jcam.inc.org/>



JCAM 年次総会のご案内

2025 年 11 月 23 日（日）
午後 1 時～3 時

年次総会への事前登録または代理投票を行うには、[こちら](#)から登録してください！

ボランティア感謝会

2025 年 11 月 23 日（日）
午後 3 時 30 分～5 時 30 分

今年 JCAM のイベントにボランティアで参加された方は、ぜひ参加して軽食や、ライブエンターテイメントをお楽しみください！

ボランティア感謝会への参加をご希望の方は、[こちら](#)から出欠確認をお願いします。

出欠確認の締め切りは、**2025 年 11 月 19 日水曜日**です。

皆様のご参加をお待ちしております！





JCAM ANNUAL SPONSORS 2025-2026

PLATINUM

The Frank H. Hori
Charitable Foundation



SILVER



Bronze

OMORI
DIAMONDS

Edokko
Japanese Food

